

# 楽しい夏で 終わりたい

## 美しい花火に注意

- ① 花火に書いてある遊び方をよく読んで、必ず守りましょう。
- ② 花火を人や家に向けたり、燃えやすい物のある場所では、やらないようにしましょう。
- ③ 大人といっしょに遊びましょう。
- ④ 風の強い時は、花火をやめましょう。
- ⑤ 花火をする時は、かならず水を用意しましょう。
- ⑥ たくさんの花火に、一度に火をつけるのはやめましょう。
- ⑦ 吹き出し物、打上げものなどの筒物花火は、途中で火が消えても、筒をのぞいてはいけません。
- ⑧ 花火をポケットに入れるのはやめましょう。
- ⑨ 花火を解体したり、つくり変えることは、非常に危険です。(これは、法令違反です。)

## 花火をほぐすのは よそう

花火の中に入っているのは強い力をもっている火薬です。わずかなまさつ熱で爆発する

ことがあります。昨年起こった事故にも、爆竹やモデルガン用の平玉などに使われている火薬をほぐして、

プラスチックケースなどに詰め込んでいるうちに爆発した、という例がたくさんあります。事故を起こした人は、もちろん重傷です。

## 遊びに夢中

### あ！あぶない

楽しい夏休みに入り、子どもたちは、野に山にと遊びに夢中です。

この時期は、交通ルールも忘れがちで、交通事故も多くなります。

交通事故を少なくするために、七月十一日から八月三十一日まで、夏の交通事故防止運動が行われています。

## 危険な水遊び

子どもたちが、危険な場所で



水泳や舟遊びをしていたら注意しましょう。

## 暑くても戸締りを

寝苦しい夜は、とかく戸締まりも忘れがちです。これからは、性犯罪や空巣が多くあります。暑くても、戸締まりは確実に

## やがて二学期

毎年、夏休みが過ぎると、家

出”や”ずる休み”をする少年が増えてきます。「うちの子に限って」とか「子供のことは一番よく知っている」という親ほど、意外に子供の本当の姿を知らないことが多いようです。ある日突然、万引や暴走行為、シンナー乱用等の深刻な不良行為を始めるわけではありません。

その前にこんなきざしがなかったでしょうか。外出が多くなった。帰宅時間が不規則。たばこをすう。電話に敏感。成績が急に下がってきた。小遣いの使い方が激しくなった。……等々、後になって思いあたることがないでしょうか。「こんなことぐらい」と、つい見過ごしたことです。それが非行の赤信号です。

日頃から親子の対話や心のふれあいを大切にしたいものです。

夏休みに野や山へ出かけたら、植物採集をしてみましょう。なにげなく咲いている小さな草花たちも、手に取ってよく見れば、みんな個性ある“顔”をしていますよ。

## 手軽に楽しむ植物採集

- ① 花をつけている草花から始めるほうが、親しみがあってよいでしょう。
- ② 巻き尺で若花の高さを計るなどして、はえている様子をメモしましょう。
- ③ 採集した場所、月日、名前などをメモしましょう。
- ④ 名前の分からないものは、図かんで調べます。花、葉、茎が手がかりです。
- ⑤ ビニール袋に入れて持ち帰り、標本にしましょう。

### 葉の形



### 対生



### 互生

## 親子で自然に親しもう

### 植物観察と押し花



## 押し花の作り方

- ① 形を整えて週刊誌などにはさむ
- ② 家に帰ってから重しを乗せて乾かす
- ③ よく乾いたら台紙に張る
- ④ 本のしおりなどに仕上げるのも楽しいですよ

